

中央大学学会 第31号 49年白門会会報

発行日 平成27年12月12日(年2回発行)
発行人 山崎 厚太
発行所 中央大学学会49年白門会
印刷所 (有)東光美術印刷

東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階 サザンフラックス労務室

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49年のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

CONTENTS

- 1ページ ★リタイア後は「教養」と「教育」が大事！ 大竹力三
- 2ページ ★2015年総会議案報告
- 3ページ ★2015年総会・懇親会レポート
- 4ページ ★会員からのエッセー「美味かったなーっ、あれ！」
- 6ページ ★友へのメッセージ 黒澤義己 ★第24回ホームカミングデー報告
- 7ページ ★ふるさと自慢あじ自慢 高橋和幸 ★ビアパーティ報告
★事業部掲示板
- 8ページ ★楽苦我喜 安室澄子 ★第13回49年白門ゴルフ会報告
★編集後記

49年白門会

(題字・葛西聖司)



7月の総会で副会長になりました。どうぞよろしくお願いいたします。広報部長も兼務しております。今回の会報も無事に発行することができました。49年白門会の創立以来、6月と12月の年に2回、休むことなく発行できたのも会員皆様のおかげと感謝しております。

私は大学卒業後に出版社に入社して、漫画雑誌の編集を24年間、編集・人権・差別表現問題、著作権・商標権などの法務関連の仕事をして13年間して定年退職し、その後4年間再雇用で関連会社に勤めました。

1年前の7月に65歳の誕生日を迎え完全なフリーになりました。その時思ったことは、これからは「教養」と「教育」が大事になる、ということでした。「教養」と「教育」……？ そんなものある程度持っているだろう、と思う皆さん、違います。「教養」とは「今日用事が有る」「教育」

とは「今日行くところが有る」という深い意味が込められているのです。

65歳の誕生日直前に市役所から「介護保険被保険者証」が届いた時、フリーになった時からの「行くところ」と「用事」が有ることにホッとしたことを思い出します。

40年近くやってきた漫画編集と編集・人権という知識と経験が、月に15日くらい2、3か所の仕事を提供してくれました。

退職して再雇用の期間に全く思いもよらぬところから声がかかってきたのです。映像関係、それもアタルトビデオの審査機関から倫理問題での相談や、老舗の人文系の出版社からコミック単行本発刊の相談を受けたら、漫画雑誌を出したことがない出版社から漫画雑誌を創刊する手伝いを頼まれたりと、ちょっとした人脈で仕事が舞いこんで来ました。

まだまだ私を頼ってくれる人がいることに感謝しました。頼まれるということは自分がまだ役に立っているという事です。役に立つ間、仕事の依頼が来たら断らずにいきたいと思っています。

リタイア後は「教養」と「教育」が大事！

49年白門会副会長 大竹 力三

リタイアして家に閉じこもってしまい、近所付き合いもなく孤立していく話を聞いたり、退職した途端、急に老けこんでしまったり、「亡くなった」たりする人も見受けられます。馬車馬のように働いてきて急に活動を止めるのではなげ、時間を掛けてクールダウンをしながら辞めるのが良いのではと思っています。

仕事が無い日に近くのスポーツジムに行きますと、昼間は男性は老人、女性は中年の奥さん連中が殆どです。行くと思わず見かける人がいます。こういう人は毎日通っているみたいですが、行くところがスポーツジムだけというのも考えものですが、病気でいるよりはずっといいことだと思います。ロッカールームが老人クラブのサロン化するのは困りますが……。49年白門会もそろそろリタイアの人が多くなっていると思います。皆さんは、「今日行く所ありますか？」「今日用事が有りますか？」「是非とも49年白門会の行事や運営に参加しませんか。今度の新年会には是非参加してください。」大竹さん、本来の意味の「教養」と「教育」が必要だよ！と言われそうですが……。

【49年白門会2015年総会】

2015年7月4日(土)に2015年の総会が御茶ノ水の「お茶の水ホテルジュラク」で開かれました。今年が創立15周年の記念総会になりました。

第1号議案

2014年度事業報告

- 1・各行事
 - (1)2014年4月4日(金) 2014年 春のゴルフ大会 (飯能パークカントリークラブ/15名)
 - (2)2014年7月12日(土) 卒業40周年記念総会 (お茶の水ホテルジュラク/54名)
 - (3)2014年8月9日(土) ビアパーティ(アサヒビール吾妻橋ビル「ラ・テラータ」/18名)
 - (4)2014年10月26日(日) 第23回中央大学ホームカミングデー (中央大学多摩キャンパス/23名)
 - (5)2014年10月27日(月) 2014年 秋のゴルフ大会 (飯能パークカントリークラブ/14名)
 - (6)2014年11月22日(土) 葛西臨海水族園見学と会食 (葛西臨海水族園・そば酒房「凜や(のんや)」/10名)
 - (7)2015年1月31日(土) 新年会(お茶の水ホテルジュラク/46名)
- 2・中央大学49年白門会会報発行
 - ・第28号・2014年6月14日(土)
 - ・第29号・2014年12月13日(土)
- 3・中央大学49年白門会役員会活動
 - ・第84回・2014年4月12日(土)
 - ・第85回・2014年5月10日(土)
 - ・第86回・2014年6月14日(土)
 - ・第87回・2014年9月27日(土)
 - ・第88回・2014年12月13日(土)
 - ・第89回・2015年2月14日(土)
 - ・第90回・2015年3月14日(土)
- 4・会員数
 - ・会員総数(270名/2015年4月1日現在)新入会員数(8名)

第2号議案 2014年度収支決算報告について(2014年4月1日～2015年3月31日)

〈収入の部〉 (単位:円)			〈支出の部〉 (単位:円)		
費目	決算額	概要	費目	決算額	概要
会費収入	312,000	会員99名(うち新規入会6名)無記名1名、重複2名	通信費	88,266	ヤマト運輸 61,176円、後納手数料、資料送付代他
懇親会収入	776,000	総会 51名×8,000円=408,000円 新年会 46名×8,000円=368,000円	事業費	305,359	会報印刷 204,876円、ホームカミングデー費用他
雑収入	62,965	学生会活動補助費 50,000円、預金利息 145円 学生会名簿協力費 10,000円、二次会余剰金他 2,820円	懇親会費	740,962	総会 408,350円、新年会 332,612円
収入計	1,150,965		事務費	30,040	コピー代 28,517円、タックシール代 1,523円
			交際費	94,295	他支部祝賀金 10,000円、学生会広告 30,000円×2回、他
			雑費	143,907	新年会景品 56,998円、総会景品 43,546円、他
			支出計	1,402,829	
			収支差額	△251,864	
			前年度繰越金	880,717	
			次年度繰越金	628,853	

第4号議案

2015年度予算案

(2015年4月1日～2016年3月31日)

〈収入の部〉 (単位:円)	
費目	予算額
会費収入	530,000
懇親会収入	800,000
雑収入	50,000
収入の部合計	1,380,000

〈支出の部〉	
費目	予算額
通信費	300,000
事業費	400,000
懇親会費	800,000
事務費	30,000
交際費	70,000
雑費	110,000
支出計	1,710,000
収支差額	▲330,000
前年度繰越金	628,853
次年度繰越金	298,853

- (1)「創立15周年記念総会・懇親会」(お茶の水ホテルジュラク) 2015年7月4日(土)
- (2)「ビアパーティ(お茶の水ホテルジュラク)」 2015年8月8日(土)
- (3)「第24回中央大学ホームカミングデー」 2015年10月25日(日)
- (4)「2015年秋のゴルフ大会」 2015年10月26日(月)
- (5)「明治大学博物館見学と忘年会」 2015年11月28日(土)
- (6)ガバナンス強化に向け会則の改正を行う
- 2・2015年度事業計画(案)
- 1・「中央大学49年白門会事業基本計画」 会創立15周年を記念し、更に同期相互の親睦・交流を推進することも、会のガバナンス強化を図り、会創立20周年(2020年)に向け新規会員の増強活動を行う。
- (1)15周年記念事業の推進
- (2)既存会員に対するフォローの充実
- (3)会報の充実
- (4)記念誌の発行
- (5)会創立20周年(2020年)に向けた新規会員の増強

第3号議案

2015年度事業計画案

第5号議案

49年白門会会則一部改定案

- 会の運営の健全性、効率性、透明性を強化し会員相互の親睦と交流を永続的に進めるため
- (1)各役員の選任手順を明確にする。
 - (2)役員への立候補を適年に行えるようにする。
 - (3)副幹事長を増員し組織の活性化を図るようにする。

- (6)「新年会」(レストランパリオール) 2016年1月30日(土)

第6号議案

2015年度役員の一部改選案

- (1)職務変更 (新) (旧)
 - 大竹力三(法) 副会長 副幹事長
 - 兼広報部長 兼広報部長
 - 宮川 保(経) 副幹事長 副会長
 - 益田耕二(法) 事務局長 会計監事
 - 石川晶雄(経) 会計監事 副幹事長
- (2)就任 (新) (旧)
 - 黒澤義己(法) 副幹事長 幹事
 - 馬場安徳(法) 副幹事長 幹事
- (3)報告
 - 藤本真也(法) 副幹事長を辞任

創立15周年記念総会・懇親会 過去最多の参加者で大盛況!!

2000年に創立された49会が創立15周年を迎えた。リタイアされる方が増えてきたせいも、年々参加者も増え、今回は60余名と過去最高の人数になった。特別企画として中大卒の真打ち・桂やまと師匠による落語もあり、会場には懇親の輪が広がっていった。

昨年と同じお茶の水ホテルジュラクには11時半頃から続々と会員が集まってきた。参加予定者は66名。今までで最高的人数だ。新入会員が6名、初めて参加する人が8名、10年以上も前に参加して以来の人等会場は総会の開始を待つ会員であふれた。

定刻の12時に中島幹事長の司会で総会が始まった。議長に山崎会

長を選出し、千葉事業部長から2014年度の事業報告と2015年度の事業計画案が、原会計部長から2014年度の収支決算報告と2015年度の収支予算案の報告があり会員の拍手で承認された。

第5号議案で山崎会長より49年白門会の会則を一部改定する案が出された。主な改定点は各役員の選任手順を明確にし、役員立候補を通行行えることとし組織の活性化を図るようになった。

第6号議案で、大竹力三広報部長が副会長を兼務、宮川保副会長が副幹事長、益田耕二会計監事が事務局長、石川昂雄副幹事長が会計監事にそれぞれ職務変更と、黒澤義二氏と馬場安徳氏の副幹事長就任、藤本真也氏の副幹事長を退任する役員の一部改選案が提案され会員の拍手で承認された。

桂やまと師匠の 出し物は「時そば」

12時半に無事総会も終了し、隣の部屋に移っての懇親会に入った。司会は大NHKアナウンサーの葛西聖司さん。山崎会長の挨拶に引き続き御来賓の白門48会支部長の山口隆司さんからお祝いの言葉を戴いた。

今回は創立15周年記念ということでも記念落語会を企画。会場に作られた高さ約1メートルの高座に出陣子と共に登場、いやよじ登ってきたのが3代目桂やまと師匠。やまと師匠は何と我々が中大を卒業した昭和49年生まれで、中大落語研究会出身の真打ち。



演目は誰もが知っている「時そば」。聞き手が流れも落ちも知ってる話だからとても難しい演目。そばを勢い良くする音と所作は本作の醍醐味で、ラジオやCDでは味わえない正に見る演出で一番の見せ場。小銭を一枚一枚数えながら、「一(ひい)、二(ふう)、三(みい)、……七(なな)、八(やあ)」と数えて、「今何時(なんどき)でいー」と時刻を尋ねると、主人が「へい、四つでい」と答える。「五六……」という落ちも解っているけど笑わずには居られなかつ

た。初めてライブで落語を聞いた会員もおり大成功の企画だった。

会場の椅子等を片つけたのち懇親会がスタート。大竹副会長の乾杯の発声の音頭で懇親会がスタートした。4つのテーブルを囲んでそれぞれ話しの花が咲いた。岩手、新潟、長野、富山、愛知、宮崎県等遠来からの参加者も多く、女性も4名参加された。桂やまと師匠が各テーブルを回り一人一人と名刺交換。壇上では高橋カメランが各学部、ゴルフ会員、女性陣、北陸出身者、東北出身者など様々なグループごとに記念撮影。またやまと師匠を囲んでの記念撮影と、前回同様飲みます食わずの大奮闘だった。

プレゼントは じゃんけん勝負!

お腹も満腹したころ合いを見て葛西さんの方から初めての参加者の紹介があった。今回は8名の方が初参加。以前から会員であった方も数名いらした。一人一人から挨拶を戴いて、次回からの参加が楽しみな顔触れになってきた。

宴もたけなわ、恒例のお楽しみ抽選会。今回は「49年白門会15周年記念」というロゴと中大のマークが

入った特製の煎餅とカステラ、チョコレート、宮崎県から参加された黒木さんからの焼酎4本、葛西さんの著書2冊がプレゼント。やまと師匠が出すグー、チョキ、パーのじゃんけん勝負でのプレゼント。毎度のことながらこのじゃんけん勝負の20分間はいやがうさにも盛り上がる。興奮しすぎて司会の葛西さんの制止を押しつけて壇上上がる人をする人も出てくる始末。

最後はこれも恒例になった石川さんがリードする「中大節」に合わせた会場練り歩き。60人以上がテーブルの合間を縫って練り歩くさまは壮観であった。その後で肩を組んで応援歌と校歌をそれぞれ一番ずつ歌い、最後の締めで山崎司副会長の万歳三唱で三時にお開きになった。

二次会の設定はなかったが、何故か御茶ノ水駅前居酒屋に20人以上が集まって二次会。その後、6人が四次会まで行った模様。

(広報部)



会員からの エッセー

「美味かったなーっ、あれ！」を語る

60余年生きてきて、今でもはつきりと覚えていた味が有るものです。そんな記憶に残っている食べ物飲み物にまつわる思い出を会員の皆さんから載せました。皆さんそれぞれに大事にしている味覚をお持ちのようですよ。

おむすび交換

伊藤 公雄 (経) 千葉県
茂原市

小学校の運動会の昼飯は、決まって母の作った稲荷寿司または、おむすびでした。低学年の時は、家族が、昼飯を持参し一緒に校庭で食べるのが恒例となっていました。

講堂前の銀杏の木の前で祖母と待ち合わせをしていましたが、一クラス五十人余りで八クラスあり、昼食時には、銀杏の木の前は、ごった返しの状態です。結局、祖母と会えずに泣きながら帰宅となりました。

高学年になると、自分で昼飯を持って行きました。一緒に食べていた同級生が「二つ交換しよう。」と言ってそれぞれのおむすびを食べることになりました。彼は、食堂の息子です。食堂で物を食べた経験が少ない僕は、どんなに旨いのか期待で少々ドキドキしました。

そのおむすびは、おむすびと柔らかいか、お世辞にも旨いとは、言えない食べ物でした。

帰宅して、その話をすると、父が「母ちゃんのおむすびが、一番旨いん

だ。」と誇りに笑いました。「一番旨いのか」僕は、うれしくなりました。振り返ると、母は、黙って微笑んでいました。

賄い飯と味噌煮込みうどん

笹尾 憲司 (経) 埼玉県
さいたま市

「豆腐買って来てよ」「一流の料理人からご命令！ 料理人は素早く、レシニングを作り、玉ねぎをきざみ氷水であい、豆腐にのせて賄い飯の出来上がり。こりゃうまい！ 絶品。学生アルバイトの特権です。

「三つ子の魂百までも」食にも言えますかねー！ 茹だった鍋に味噌を入れ、里芋、長ネギ、にんじん、椎茸、それにうどんを入れてぐつぐつ煮込む。まあ甲府の「ほうとう」ですよ。子供のころお袋がよく作ってくれました。最近あまり作る事が無くなりましたが、美味しいです。

一流のシェフの作った豆腐の「賄い飯」商品で出すのでなく、われわれの空腹を満たしてくれる。腕を磨いた者しか出せない味。もう一度食べたいです。

子供の頃お袋が作ってくれた味噌

煮込みうどん。たまめに食する時、子供の時たいして感慨もなく食べていた物がこんなに美味しいとは。

食生活が豊かになり、なんでも食べられる今日。「豊かになったなー」と思いながら満たされない時しか味あえない味覚もあるな。まあ最近の味噌煮込みうどんは鶏肉入りです。

「かた焼きそば」

岸 伸晃 (法) 東京都
杉並区

何といっても「かた焼きそば」です。故郷の信州松本に「竹ノ家」(たけのや) という中華料理店がありました。

家にお客様が来ると、定番の出前をとります。細麺の外側はカリカリ、中はやわらか、肉団子と鶏のゆで卵、周りが赤いチャーシュー、青豌豆などが載り、醤油・ソース・酢・からしが付いていました。

私はその味が懐かしくて、中華料理店では「かた焼きそば」を頼みます。でも、長崎中華街の「龍亭」で食べたそれが一番近く、その外は、有名な作家が絶賛というものを食べ

ても、横浜中華街で食べても、足元にも及びません。竹ノ家の「かた焼きそば」は、私にとっての絶品です。その「竹ノ家」は、今はもうありません。…つねならむ…です。過去への執着ではなく、あの絶品に巡り合えることを「楽しみ」にして、これからは注文し続けようと思っています。

「すっぽん鍋」

大久保光夫 (経) 東京都
大田区

私が就職し、最初の転勤先で知った先輩から京都・奈良の仏像の素晴らしさを教わり、それ以来毎年のように京都・奈良を訪れるようになりました。

若いころはお金もないので寺社巡りをするのが精一杯で、宿や食事にはお金をかけませんでした。最近は何となく、夫婦で食事を目的にした旅行をすることが多くなりました。

京都といえは懐石料理が有名です。季節ごとの旬のものが、いろいろな形で調理されて、盛り付けも綺麗です。

京都で面白いと思ったのは、特定の食材や調理法にこだわりの、一つのコース料理しか提供しない店も多いことです。

そんなお店の一つがすっぽん料理の「大市」です。330年前の創業以来すっぽん鍋一筋という老舗です。

熱々の料理を提供するために、ぐつぐつ煮えた〇(ま)の鍋は二度に分けて出てきます。中身はすっぽんの切り身とスープという、きわめてシンプルなお鍋です。このシンプルさがいい。この鍋の美味しさの秘訣は、やっぱりスープです。最後に出てくる雑炊にも、その美味しさが凝縮しています。

「一休軒」

岡野 貫次 (経) 福岡県
福岡市

私にとっての豚骨ラーメンと言えば「一休軒」のラーメンである。佐賀市の中心街松原町に営業していたが、2011年8月閉店した。大学進学で上京するまで「一休軒」のラーメンを食べて育った。澄み切っているが濃厚な豚骨スープ、やや太麺とトロトロの焼豚。古びて狭い店構えと愛想がない店主。しかし一旦口に入れた瞬間、絶妙なスープの味と香り、麺と焼豚の食感。うつくしまんない！

子供の頃、両親から「何か食べに行こうか？」と言われたら、必ず「一休軒！」と安上がりな孝行息子だったように思う。

大人になってもこの味を求めて佐賀へ行った。久留米ラーメンが源流であり、今流行の博多豚骨ラーメン

とは……違う。ブームとなっている「風堂」「二蘭」などのラーメンが豚骨ブームの主流になってきているが……違う。最近、佐賀市内に同店名の店舗が出来たので食べに行ったら……違う。違いを書けばここに収まらないので、割愛させてもらう。

佐賀を離れ福岡に居を構え約40年。「休軒」の味を求めて彷徨っているが……未だ出会っていない。「ああ〜休軒よ、お願いだ！もう一度僕の胃袋へ遊びにおいで！」

腹立たしい 食いしん坊

佐藤 隆 (経) 東京都
府中市

下戸だからかもしれません。人一倍の食いしん坊です。東京で一番旨い天ぷら、一番美味いとんかつ等々勝手に決めて人様に押し付けてきました。

ほぼ35年堪能した神田多町の多鳥というあまり綺麗とは言えない焼ぎ鳥屋の『煮込み』の絶妙さ。突出しただけで何杯もお代わりしてしまつても言えないまろやかな旨み。

一方これも25年は通った荻窪のシーフードレストランの海鮮香味焼き。たっぷりの野菜添えで旬の魚介類のフレンチ。ソースは必ず何回もパンをお代りして最後の一滴まで吸い取ってまるで舐めたが如くに食べ尽す。

新宿青梅街道沿い地下の小さなピアレ스토랑のオムレツ。チーズ味、コンビーフ味どちらも舌鼓。

三店とも社内のイベント、家族のイベント、果ては小奇麗でもないのに接待にまで使う程の入れ込みみょう。美味いでしょ！の美味さの押付け。

ところが残念！吾等が歳を取るのと同じように焼き鳥屋の親爺もシェフも歳をとりやがる。「廃業することになりました」のすげない宣告！この先どうすりゃいいんだよと毒ついても、各々の方々に仲間と一緒にマジ心を込めた感謝状を贈呈。爾来それ以上の味にありつけない腹立たしさと「美味い店は歳とるな〜」と遠吠え。

居酒屋の ランチ定食

増澤 繁 (法) 千葉県
柏市

マグロ、タチウオ、タコぶつ、クロダイ、オキアジ、チダイ、スズキ……今日も、「美味かったなーっ、あれ〜」とチェックしています。「さかなや道場」でのランチタイムサービスの刺身定食(¥980)です。チェックは、魚の図鑑です。愉しいですよ。

八海山純米吟醸(¥980)も一合愉しみました。「昼の一合」は実にすばらしい。「うま〜」のは当然で「感激」しちゃいます。いつも心の中で叫びます、「よ〜ぞ、米からこの酒を造りけり」と。

また、居酒屋のよきは、「ゆったりした時が流れて」いってやすすよ

ね。ランチも、ゆったりした時の流れの中で、愉しみたいと思われませんか？

さて、いい魚が、そんな安い価格で、食べられるか？というご意見もあるかもしれません。いいものを高い価格で……なんて、バブル時代、もう経験済みですよ。若いうち、先輩、上司からご馳走になり、「夕酒はうまい」なんて、経験をしましたよね。

私は、現在、「シルバータダ酒」を満喫しています。今日も、ほとんど株主優待券で払いました。こういう株主優待券をいただける会社は、山ほどあります。株式は、損得のリスクがありますので、もちろん自己責任です(笑)。

カネをさして使わず、ゆったり、愉しく……。そして、食事の席には、やはり、女性がいるといいかな。

私にとつての 食事の横綱

山崎 厚太 (経) 東京都
板橋区

初めてこんなにうまいものがあるのかと感じたのは、小学校低学年の給食のりをまぶしたちくわの磯辺揚げ天ぷらを食べた時です。しかしながら、この磯辺は年に二度しか出なかつたので、まちまちおしいことと言ったら無かつたことが五十年以上経った今でもはっきり覚えています。そのため、家で母親に作ってくれと言って他の天ぷらは食べずにち

くわの磯辺揚げだけを食べていました。それ以来、天ぷらと言えは「ちくわの磯辺揚げ」は食事の横綱になりました。

次の横綱はやはり小学校の時家で食べたハムカツです。小学校の頃から大皿に山盛りにしてご飯も食べずにハムカツだけ食べていました。今でも家で作ったハムカツはおいしい感じます。

只なんと言っても一番の大横綱は酢蛸です。やはり小学生時代、正月におせちと一緒にどんぶり一杯の酢蛸がおぜんになり、朝、昼、晩とひたすら酢蛸を食べていました。その時から酢蛸さえ有れば他のおかずはいらず酢蛸だけで何杯もご飯を食べるようになりました。

小学生時代にすり込まれたうまさ感は今でも続いており、酢蛸、ちくわの磯辺揚げ、天ぷら、ハムカツは横綱で言えは、双葉山、大鵬、白鵬で別格の大横綱です。

生ビールで一考

馬場 安德 (法) 千葉県
我孫子市

仕事帰りのビールは旨かった。今はランチ後のビールが旨いと思う。この機会に、どこで飲むのが旨かつか思いたしてみよう、山で飲むビールが印象に残る。

ここ数年はご無沙汰しているが、20歳頃から3000m級の山を楽しんで来た。当時はテント、食料を皆

で分担して登っていたが、その中に必ず瓶ビールが含まれていた。当然重い。

白馬岳への長い登りで小休止、残雪(雪渓)で冷やして飲むビールは疲れや瓶の重さを忘れさせてくれた。今ではほとんどの「山小屋」に自販機どころか、生ビールが我々を待ち侘びているように思える。

穂高岳山荘前の縁台に座り北アルプスを一望しながらの生ビールは最高である。この後、相方が酒沢に下る途中よけて5mほどスベリ落ち、酒沢で手当てを受けたが、骨折はなく何とか帰還した。これ以降、山行中の飲酒はやめた。(下山したときや泊りの山小屋・山荘では当然のごとく飲みますが……)

10年ほど前、西穂高からの戻り、幻の「オコシヨ」に初めて遭遇！山荘でのビールは格別であったが、興奮してなかなか寝付けなかつた。

剣岳を下山中、雷鳥平あたりで雷鳥の親子が疲れた我々を迎えてくれた。もちろん室堂でも生ビール！これを飲んでいる方は、当方をただのアル中と思うかもしれないが、今思うことは、健康寿命を伸ばすためにアルコールはたしなむ程度？5人の孫とジュースで乾杯！これが一番かもしれない……。



友への メッセージ

将棋同好会についてのもあれこれ

黒澤 義己(法) 千葉県 市川市

49年白門会創立15周年にあたり、将棋同好会が発足致しました。去る9月19日に開催した第一回将棋の会の参加者は、主催者である私を含め7名と、初回としてはまずまずの出だしであったと言えます。5時間ほどの間で、各自2-3局指すことができ、非常に充実した時を過ごすことができたというのが、参加者の大方の感想です。

簡単に私の自己紹介を兼ねて本同好会のご案内をさせていただきます。私と将棋との関わりは、遊び始めた時から数えると、半世紀余りになります。幼少期の「めんこ」「独楽」「ビー玉」等の遊びに将棋が加わっただけでその後、2度の転校があったこともあり、再び指し始めたのは10年以上も後の高校生になってからでした。

2年生の時、同級生の間で将棋が流行り、やってみると、何と普段気にも留めていなかった相手が思いのほか強く、何回やっても歯が立たず、それが面白さを認識させることになったのです。そこで初めて、将棋の解説書を読みました。解説書にも定跡格言、実戦解説等いろいろあって、

たまたま手にしたのは格言編でした。「桂馬の高蹴り歩の餌食」など面白くて覚えやすい文言が多く、楽しく読んでいくうちに自分でも驚くほど上達しました。また、テレビの将棋番組も見られるようになり、益々興味を持つようになっていきました。



高校卒業の頃には、かつて歯が立たなかった相手にもほとんどの成績を残せるようになり、その勢いで大学入学後は将棋部に入部しました。「中央大学棋道会将棋部」、それが在学中の私の所属団体です。授業が休講になれば将棋、指しかけの将棋が終わらなければ自主休講と、一時期は将棋三昧の日々が続ききました。それほど心血を注いできた(というほどでもない)将棋ですが、就職した後は周りに適当な相手もないため、サラリーマン人生の大部分は、

人並みに仕事優先でした。その間の大学の将棋仲間ともほとんど会う機会もなかったのですが、昨年、将棋部の後輩に出会い、彼を通じて大学の時代の先輩同輩との再会が叶い、同期を同じ部室(駿河台校舎南端の4F)で過ごした仲間たちを誘って将棋会を開こうということになったのが、今年の5月。たまたま49年白門会役員会翌日の午後であったため、同会が役員の方々周知のこととなりました。後日山崎会長から、将棋同好会を設立してはどうかとの提案を頂き、早速発足の運びとなりました。

さて、本同好会は、49年卒の同期生であれば、誰でも参加して頂くことができます。当面は、年4回程度、即ち、春夏秋冬各1回の開催を予定しています。開催日時が決まり次第掲示板でお知らせしますのでご参加ください。棋力は問いません。これから覚えたいという方には、私が懇切丁寧に指導致します。

将棋は、頭と手があれば、誰でも楽しむことができ、麻雀と違って金銭を賭けることもなく、至って健全な遊戯ですので気軽に「ご参加ください。一人でも多くの参加者を得て、本同好会、ひいては49年白門会の発展に繋がるようでしたら、これに勝る喜びはありません。

第24回ホームカミングデー

2015年 10月25日(日)

原 伸正(経)

爽やかな秋の陽の下で開催されたホームカミングデー、49年白門会のメンバーが母校に集まった。早朝から場所取りの人、買い出しの人々、それぞれの役割をこなして、多摩の丘陵に集い、午前11時の開会を待った。上着があると少し暑く感じる、でもちょうど良い気候。参加者は会員・非会員40名、そして家族で来られた加納さん、黒木さん、参加総数は47名と大盛況。今年多摩校舎近隣に住む卒業生にも案内を出した効果もあり、初参加の方が5名、また宮崎、奈良、名古屋からの参加者もあり大いに盛り上がった。

当日の朝、高幡不動駅に買い出し隊4名が集合、京王ストアで飲み物や物産を爆買い、あまりの多さと重さにタクシードで中央大学に乗りつけた。今回の買い出しには今年の総会の時に新規入会した安室さんが手伝ってくれ、女性の視点からつまみや物産の種類も豊富で充実した内容で調達することができた。

昼を過ぎる頃から次第に人数が増えて、6つ確保したテーブルが埋まりはじめる。たぶん、テーブル6個は会場最大規模と思われる。差し入れもあり、飲み物、食べ物、テーブルに並び、その周りからどんどん手が伸びてくる。

プログラムは進み、スィングクリスタルによるプロ並みの演奏、鼓吹(こおつ)による迫力満点の大鼓演奏、そして応援団とチアガールの応援歌。山ほどあった物産やつまみもいっただんなくなっていく。選び方が良かったと自慢して自己満足に浸る買い出し隊のメンバー。気がつけばもう3時過ぎ、時が過ぎるのが早い。残念ながら49会から抽選会の当りは出なかったが、それでも満足感に浸る人、そして少し千鳥足の人も三々五々帰途についた。でも、多摩校舎はやっぱり遠いなあと少し不満も抱きながら。イベントの度に、参加人数が増えている49会。今年参加できなかった方も来年は是非参加してみませんか。みなさんの参加でより活発な会になるようにしましょう。



ふるさと自慢 あじ自慢

日本全国からやってきた中大学生。卒業して故郷に帰る人もいれば東京近辺に住む人もいます。どこにいても故郷は懐かしいもの。思い出すのはあの山あいの川、そしてあの食べ物。それを自慢してみたいものです。

今回は徳島県鳴門市の「鳴門応援鯛」メンバーの高橋和幸が、鳴門市の「マスノット」つずしおくんを手にしてこの故郷自慢です。

徳島県 鳴門市 高橋 和幸(法)



新年会で
プレゼント
しますよ！

わが故郷徳島県鳴門市は鳴門観潮に代表されるように風光明媚な所です。吉野川が流れる徳島平野の北部に位置し、海と山の幸に恵まれています。中でも鳴門海峡という流れの激しい中で育ったワカメは腰が強くミネラル一杯でまさに絶品です。味噌汁に入れるのもよいですがワカメサラダで酢仕立てで食べると歯ごたえがあって抜群の美味しさです。次に今や全国ブランドになった「鳴門金時芋」。程よい甘さが魅力的で、蒸してよし、焼いてよしです。秋の季節は「栗より(九里四里)美味い十三里」と言われるべらぼう芋が引き立ちます。最近では鳴門金時芋を焼いて焼酎を作っています。香ばしいほのかな香りが好評をえています。

また、鳴門はレンコンの全国有数の産地でもあります。京都の料亭などにも出荷されるべらぼうの品質の高さをほめています。そして最近話題になっているのが「レンコン茶」です。レンコンの葉から作られるお茶は血行を良くし美肌効果もあり女性の方に人気を博しています。そして見逃してはいけないのが和菓子です。市内には多くの和菓子店が軒を連ね、その中でも創意工夫して錦を削っています。特に僕が好きなのは老舗ところらの「名代あん巻」です。先ほどのレンコン茶との相性は抜群です。

小腹がすいた時には「鳴ちゅううどん」。太い腰のある讃岐うどんと違い細くて柔らかさが特徴です。出汁は体に優しい薄味仕立て、冷えた体と夫婦関係をシワァッと心の底から温めてくれること間違いなしです。

新年会には、鳴門金時芋焼酎、わかめ、レンコン茶、鳴ちゅううどん、ことららの名代あん巻、鳴門鯛(生酒)、福寿醤油、鳴門金時芋を持っています。お楽しみに！



事業部掲示板

新年会

今回は駿河台記念館の1階にある「レストラン プリオール」で行います。美味しい料理とお酒で楽しいひと時をお過ごしください。

日時 平成28年1月30日(土)
12時~14時30分

場所 「レストラン プリオール」
東京都代田区神田駿河台3-11-5
中央大学駿河台記念館1F

TEL 03-3219-6085
会費 6千円

御茶ノ水でビアパーティ

2015年 8月8日(土) 千葉幸嗣(商)

君とよくこの店に来たものさ、訳もなくお茶を飲み話したよ、学生でにぎやかなこの店の... ガロが歌った学生街の喫茶店が懐かしい御茶ノ水。

あれから41年。学生時代JR御茶ノ水駅前にあった「ウイーン」という喫茶店だったお店は、今はリニューアルされ「御茶の水ビアホール」に衣替えされました。連日猛暑が続く中、学生時代通った思い出の地で49年白門会ビアパーティが盛大に開催されました。

総勢21名の参加のもと、山崎会長の乾杯の音頭でスタート。参加者の皆さん、夏バテなんてこと吹く風で、威勢の良い「かんぱい！」の発声が会場内に響き渡りました。

暑い一日だったのでピッチャーで注がれる「キリン一番搾り」は瞬く間に無くなり、ピッチャーの運び込まれた本数は14本だったとか。自らビア樽になってしまった方がおり、皆さんに冷やかされて、その後焼酎に代えてももう体性はかわりません。

7月開催の総会のとぎに入会した方や、今回新たに会員になられた方も即打ち解けて戴き、皆さんの顔が紅潮されるにつれ和気あいあいでの現状生活の思いや苦労、或いはこれからの希望に満ちたお話がありました。

会員の中には、この会場で42年前

ロマンスがあり、めでた〜ゴールインされた方もおりますので、学生時代の恋話が出るなどアットホームな話も大受けでした。紅一点参加の安室さんは本日の「華」で、会場内を盛り上げていただきました。

ビアパーティの締めは「御茶の水ビアホール」前の路上で中央大学エール。私たちのビアパーティの酔いと余韻に、道行く人々も拍手を送ってくれました。ああ、御茶ノ水はいい街だ、と実感。

中央大学ホームカミングデーでの再会を期して、カラオケに行く方や二次会に行く方々等、其々昼下がりの御茶ノ水を後にしました。



らくがき 楽苦我喜

安室澄子(文)

千葉県 千葉県

「いちご白書をもっと一度」

私が友人に連れられて、はじめて49年白門会にお邪魔したのは、2015年1月末の新年会でした。

知っている方は始ごいませんでしたが、何故か懐かしく感じました。その感覚は、同じ時代、同じ場所で周囲から隔離されたような、あの御茶ノ水校舎の中で過ごした仲間同士という結び付きに他なりません。皆さんと二次会、三次会と流れて又お話を始めると、昔の議論による議論をしていた事を思い出して、懐かしさでいっぱいになりました。40年の時を超えて、御茶ノ水校舎の真ん中にある木の根元にタイムスリップして立っている自分を見ているようです。こういふ仲間もありませんだと思いつつ、とても居心地の良さを感じています。昔の男性は女性に優しくなかったな〜その昔の男性と昔の女性で第二の青春を始めることも有りかな〜と勝手に思っています。本日は総会に出席するまでは入会するつもりはありませんでした。が、参加してみたい魅力的な行事が沢山あって、つい入会してしまいました。この縁を大切に、昔の仲間といっぱい楽しみたいと思っています。皆様よろしくお願ひします。

後編 集記

2015年を振り返って

もう師走。歳のせいだろうか。月日の経つのが早く感じられるこの頃です。49年白門会の皆さん方と新年会をはじめ、創立15周年記念総会でお会いしたのが、つい最近のように感じてなりません。そういえば今年の新年会で行われた抽選会の景品選びは私の担当でした。各役員の出身地の銘品を毎年、抽選会の景品にしようと思いついた企

第13回49年白門ゴルフ会

2015年 10月26日(月)

この秋一番の冷え込みとなった10月26日。前日のホームカミングデーにも参加した4名を含めた11名が埼玉県の「飯能パークカントリークラブ」に集合して第13回「49年白門ゴルフ会」が開催された。

高木会長から、今まで何度も参加しているのに入賞したことのないA B両氏に今回は是非とも優勝してもらいたいの、最大級のハンデを与えます、という挨拶があった。多大なハンデをいただいたA B両氏、喜んでいいのか悲しんでいいのか複雑な表情でホール目に向かった。

A氏曰く「1年ぶりに先週プレイした」、負けじとB氏曰く「前回のゴルフ会以来半年以上やってない。靴も車の中に置きっぱなしだった」と早くも舌戦開始。

スタートホールでB氏がいきなりのナイスショットに「優勝が見えた」という気の早い掛け声も聞かれた。2組目のA氏も順調な滑り出し。画です。

私は岩手県の奥州市出身なので、地元逸品となると「前沢牛」しかありません。ブランド品なので予算内に収めるとなると4個だけ。20個揃えるのにとっしょつかと思案した結果、東日本大震災の被害から復興オープンした蔵元を始め三陸沿岸の地酒を揃えさせて頂きました。その中にプレミアム付きのお酒があり、

それにしてもこの会はいつも天候に恵まれている。特に今回は曇一つなく、風も全く吹かない。木陰に入るとひんやりするが太陽の下でも汗をかかないさわやかさ。紅葉にはまだ早い、鮮やかな色を見せている樹木もちらほらあった。

前半は4打差でB氏がリード。B氏に優勝の文字が見えてきた。B氏曰く「いやいや後半は、ハーフでエイシュートかも」と神秘的な発言。

3時過ぎ無事終了。結果は何とA氏が逆転優勝。2位はベスグロの実力者・黒木さん。同ネットのB氏が3位。同組だった高木会長から「Bさん、あの空振りがなければ2位だったのにと同情の声が上がった。今回も宮崎から参加された黒木さんから宮崎名物「鶏の炭火焼」が皆さんにプレゼントされた。毎回のことであるが大感謝。

A氏の優勝の弁「いつもはプービーの挨拶をしましたが、今回はゴ抽選で当たった方はラッキーでしたね。今年一年の「運」は如何だったでしょうか(笑)。

私は、岩手の景品探しをきっかけに、今まで振り向きもしなかった故郷の物産を知ることができ、いわて復興応援団の一員にもなりました。それが縁で、故郷とのつながりができたことに感謝と収穫を見出した一年でした。(千葉幸嗣)



ルン会の会長・競技委員長・ハンディ委員長・会計・そして小間使いの高木さんの親心・兄心のおかげで優勝させて頂きました。

帰りの高速道路からは東の空から大きな満月が上ってくるのが見えた。次回は来春の4月8日(金)の予定です。(広報部)

●49年白門会事務局

*住所変更、新規会員紹介の御連絡、会報への御意見などをお寄せください。

49年白門会事務局長 益田耕二

〒105-0013 東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階
サザンフラックス労務室
Tel 03-5401-7545 Fax 03-5401-0898

※メールアドレスの登録・変更は
hakumon49@gakuinkai.com にご連絡ください。